

高齢者世帯で除雪作業

美深高養校1年生が社会貢献

【美深】美深高等養

れ、3日間で計11件の

目標を語った。

護学校(大泉直哉校長) 1年生による町内の除雪作業が18―20日の3日間行われ、生徒たちが高齢者世帯などを訪問して除雪作業に取り組んだ。

住宅で作業を行った。食品デザイン科1年の安藤嘉希君は3日間の作業を振り返り「1日目は予想よりきつ

また、作業の最中には住宅の住民と交流する機会もあり「あいさつしたり声を掛けてもらったり、普段の学校生活ではあまりないことなので新鮮な体験だった」と話していた。

この取り組みは生徒の実習授業と地域への社会貢献を兼ねて毎年行われている。1月に2年生、2月に1年生がそれぞれ作業に取り組んでいる。今回は在籍している1年生20人が3グループに分か

く、雰囲気も暗くなりがちで大変だったけど、徐々に自分もみんなも慣れてきて、3日目には声を出して盛り上げながら作業できるようになった。来年は体力をつけてもっと素早く的確な作業ができるように頑張りたい」と反省と来年に向けた

作業現場となった住宅の住民も生徒たちの作業を見守り「すごく真面目に動いていて、しっかり頑張っている」と話し、感心していた。(安積祥紀)



除雪作業に汗を流す生徒たち